

本科1期確認テスト講評(中1生)

●英語●

・中1選抜東大英語(1EJSS)

中1最初の確認テストということで、基本部分からの出題が中心でしたので、全体的に良くできていました。思ったより得点できなかったと感じる人の中には、「あとちょっと」のミスで惜しくも点を落としている箇所があったのではないのでしょうか。疑問文なのにクエスチョンマークを付けていない、単語のつづりが違う、代名詞を間違えているなど、指摘されればすぐに正しい答えがわかるはずのもので失点している箇所は、この機会にしっかり復習をしておきましょう。

特に【6】【7】の書き換えや作文の問題ではそういった間違いが起こりやすいです。例えば、名詞を複数形にすることだけに注意を向けるあまり、対応する動詞や代名詞の形を変え忘れてしまい減点されるというような例が少なくありません。自分で犯しやすいミスを日ごろから意識し、自分がミスしやすい箇所を中心に見直しをするよう心がけましょう。そうすることで、「うっかりミス」を減らすことができます。

テストの後は、点数だけを見て「それなりにできていてよかったな」「まあまあかな」などと終えてしまうのではなく、自分の解答をきちんと見直すことが大切です。自分の答案をしっかりと分析して次に活かせるかどうかで力の伸び方が変わってきますので、意識して復習に力を入れましょう。

・中1英語(1EJS)

中1最初の確認テストということで、基本部分からの出題が中心でしたので、全体的に良くできていました。点数だけ見て「結構よくできたな」と安心するのではなく、できなかった箇所にきちんと目を向けるようにしましょう。疑問文なのにクエスチョンマークを付けていない、単語のつづりが違う、代名詞を間違えているなど、細かいミスを重ねてはいないでしょうか？こういった間違いがあった人は、この機会にしっかり復習をし、次のテストでは同じミスをしないように心がけましょう。

今回点差が開いたのは【3】の和訳・作文問題でした。英語を書ける・話せるようになるコツは、まずは1つ例文を覚えて、別の単語に置き換えてみることです。例えば Do you watch TV in the morning? という文章を覚えたとします。この文章の主語を He に変えたら文章全体はどう変わるでしょうか。目的語を TV ではなく the piano に変えたらどうでしょう。少しずつ使える単語や表現を増やしていくことで、いろんな文章を読めるようになります。

今回のテスト範囲となった単元は、今後の英語学習の根幹となるものばかりです。間違えた箇所、減点された箇所は、どのように答えるべきだったのかを考えながら、もう一度解き直しましょう。そして、よくわからないところ、不安なところは講師に質問するなどして、理解不十分な項目を残すことのないようにしてください。

●数学●

・中1選抜東大・医学部数学(1MJSS)

今回のテストでは、【1】正負の数の計算と文字式の計算【2】方程式【3】図形の移動【4】図形の証明【5】方程式の文章題【6】作図に関する応用問題を出題しました。

今回は、前半の計算問題(【1】【2】)で、「見通しを持った計算」を理解していないと、ここで予想外の時間をとってしまい大きく失点をしてしまう、というテストでした。公約数を括り出して係数を小さくする、分配法則で項をまとめる、指数の計算で素因数に注目して整理する、といった計算における基本動作をきちんとすることが必要でした。この点を意識してもらうために敢えてこのような問題にしています。何も考えずにただ計算する姿勢から脱却しましょう。

特に【2】は出来に差があり、ここでの得点差が試験全体の得点差に大きく影響を与えています。

【3】では「もれなく考える」ことの難しさを感じたはずですが、どうすればもれなく考えられるのか、また考える際に思い込みがなかったか、を改めて振り返ってください。

【4】の証明では、正しい結論はわかっても、その根拠が考えられていない答案が多かったです。数学は結論よりもそこに至る過程が大切です。自分の答案で何が足りなかったのかをしっかりと理解して下さい。

【5】の文章題でも、全体を見渡してから個別の計算をする姿勢、つまり「どういった式を立てれば欲しい答えが得られるか」という視点が必要でした。これからは目の前にあるものをただ計算するだけでは正解にたどり着けません。計算を始める前に頭を使わなければいけないことを理解してください。

【6】は、作図についての見慣れない記述問題でしたが、空欄の答案が目立ちました。試験時間の関係でたどり着けなかったかもしれませんが、こういった難しい問題に「食らいつく」姿勢も重要です。

とにかく数学は自分で手を動かさなければできるようになりません。全体を通して言えるのは、先を見通しながら計算をしたり、文章の意味をきちんと読み取って式に表したりすることにまだまだ課題がある、という事です。夏休みまでにこれらの課題を意識して日頃の演習を積み重ねましょう。

・中1数学(1MJS)

本科として初めてのテストでしたが、手ごたえはどうだったでしょうか。

【1】【2】の計算問題は基本的な問題でしたが、平均点がおよそ5割強と苦戦していたのが気になります。分数や小数、中かっこや累乗の計算が入ってきてもあわてず正しく計算できるように練習を重ね、今回のような問題は満点を取れるようにしていきましょう。

【3】は立体図形の問題でした。大きく差がついたようですので、できなかったところは解説を読んで、丁寧に見直しておきましょう。

【4】で出題された対称移動・回転移動の考え方は、今後幾何(図形)を学習するとき非常に重要です。図形に対して苦手意識のある人は、夏休みにしっかり基本の考え方を復習して、早めに苦手意識を克服しましょう。

【5】は正負の数に関する応用問題で、答案の書き方に迷った人もいたのではないのでしょうか。今のうちから、どう書けば考え方をわかってもらえるか、についても意識しておきたいところです。